

<第4478回>

目的地：藤原岳（鈴鹿）

担当者：坂原M

実施日：2024年4月13日（土）

形式：ハイキング（マイカー山行）

費用：¥3,090

参加者：5名

天気：晴れ

行程：

京阪京橋駅北口タクシー乗り場(7:05)⇒(第二京阪、新名神高速経由)⇒(10:00)藤原岳観光駐車場(西藤原駅近く)(10:05)→(10:17)大貝戸休憩所(10:24)→(大貝戸道経由)→三合目(10:59)→(12:04)八合目(12:09)→(12:24)九合目(12:28)→(12:52)藤原山荘(13:21)→(13:40)藤原岳(13:50)→藤原山荘→(大貝戸道経由)→(16:05)大貝戸休憩所(16:12)→(16:24)藤原岳観光駐車場(16:30)⇒(新名神高速、第二京阪経由)⇒(19:30)京橋駅北口タクシー乗り場【解散】

感想：

京阪京橋駅北口タクシー乗り場に集合し、自家用車で出発。登山口近くの藤原岳観光駐車場を目指しました。途中土山SAの休憩でゆっくりしたこともあり駐車場到着が遅れ、また当初予定していた駐車場が満員で入れず、遠くの駐車場に誘導されました。この時点で予定出発時間よりかなり時間が遅れていたため、登山コースを大貝戸道経由の往復に変更しました。登山口の大貝戸休憩所でトイレを済ませ、いよいよ1000mの登りの開始です。登山口までに見えた藤原岳はかなりの傾斜があるように見えました。道はジグザクに進み、とても長く感じられました。途中、テレビのロケ隊をはじめ、多くの方とすれ違いました。さすが人気の山です。登山開始後約2時間で八合目に到着し、当初予定の聖宝寺道と合流しました。このあたりから花が段々多くなってきました。九合目からは、谷を隔てた向かい側に石灰石採掘の藤原鉱山が見えました。山の大部分が削り取られ、かなり高いところまで作業用車輛が上がっているのが見えました。麓の工場から、三岐鉄道でセメントを出荷しているようです。登山道にも石灰岩が増えてきて、お腹も空いてきた13時前に、ようやく鈴鹿山脈の稜線上にある藤原山荘避難小屋に到着しました。目の前に藤原岳が見え、とても気持ちの良い場所です。ここまでかなり長い道のりでしたが、もう山頂は目の前です。アセビの群落を抜け、のびやかな道をひと踏ん張り登ると、藤原岳の山頂です。山頂からはカルスト地形の独特な眺め、鈴鹿山脈の主稜線、テントの幕営も見える藤原山荘避難小屋、伊勢湾、滋賀県側の廃村茨川集落方面など素晴らしい眺望を満喫できました。また、花も、フクジュソウをはじめ、アズマイチゲ、ヒロハノアマナ、コミヤマカタバミ、ニシキゴロモ、ヤマネコノメソウ、バイケイソウ、アセビなどが咲いており、花の百名山藤原岳を充分満喫できました。帰りはもと来た長い道のりを引き返しました。下山後はマイカーで、ほぼ予定時間に帰阪することができました(例会報告担当：熊谷)。

特記：

藤原岳観光駐車場は花の季節ということもあり、東海地区から早朝から登山客が訪れているようで、遅めに到着したころにはすでに満車で、かなり離れた別の場所に誘導されました。